

早期復旧に向けて
全力を尽くします



白石市建設課
土木係長 高橋 雄一

市では、震災直後から市内のパトロールを開始し、道路などの被害状況を調査しました。多くの箇所が道路が陥没し、中には大規模に崩壊している箇所もあり、被害の甚大さが目立ちました。

今まで経験したことのない災害に、どう対処していくべきか不安な部分もありましたが、多くの方々にご協力をいただき、平成23年度中に災害査定を終えました。現在、復旧工事を行っているところですが、すべての工事を終えるにはまだまだ時間がかかり、皆さまには大変ご迷惑をお掛けします。早期復旧に向けて全力を尽くしますので、ご理解をお願いします。

●平成24年5月までに復旧した主な路線

地区名	箇所名
白石	緑が丘団地2号・17号線、鷹巣三沢線、中央通り線、新館線、南小路線、虎子沢山1号線、鷹巣東6号・8号線、山口線、白石田中線、鷹巣中線、鳥喰北無双作線
越河	越河線、新田線
斎川	甲冑堂線
大平	城南二丁目1号線
白川	平栗山崎線、大新田線
福岡	コスモスライン線(一部)、細野線、中丸線、鎌先4号線、西沢線、後小路線
小原	江志前材木岩線、藤坂六角線

●補助災害の農業用施設(道路・水路・ため池・農地など)の復旧状況

地区名	箇所名	工種	被災内容	復旧状況・見込み
白川	佐野(1)	道路	路面亀裂、陥没	復旧済み
	佐野(2)	ため池	護岸擁壁崩壊	復旧済み
	内親	水路	護岸ブロック崩壊	復旧済み
白石	長泥西沢	道路	路面亀裂、陥没	復旧済み
	松ヶ丘	水路	水路底版隆起、柵渠破損	復旧済み
斎川	石神	道路	路面亀裂、陥没	平成24年12月末復旧
	鹿ノ子	ため池	護岸破損、堤体亀裂	平成24年12月末復旧
福岡	内田	道路	路面亀裂、陥没	復旧済み
	河童屋敷	道路	路面亀裂、陥没	平成24年12月末復旧
	桜ヶ丘	道路	路面亀裂、陥没	復旧済み
福岡	菅生田	道路	路面亀裂、陥没	平成24年12月末復旧
	五郎代山	農地	草地面崩土	復旧済み

●農業集落排水の被災箇所

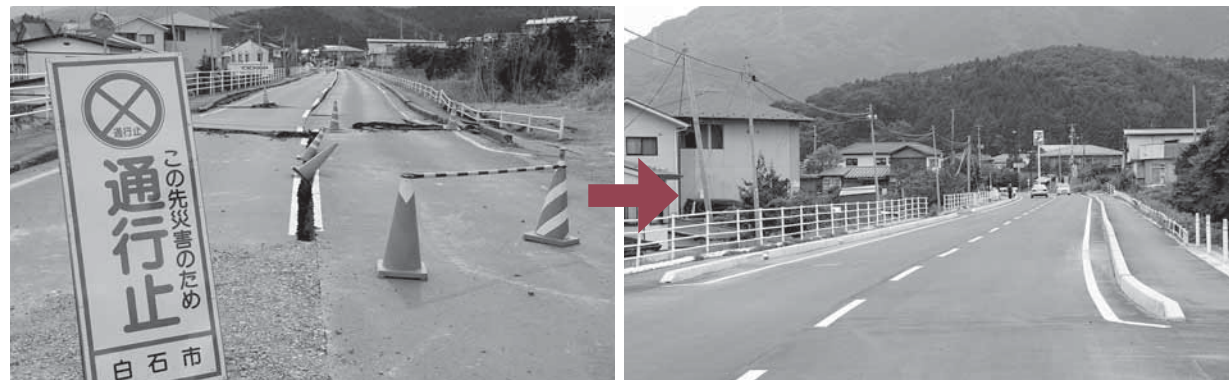
地区名	施工箇所	復旧状況・見込み
斎川	斎川字新町尻地内	復旧済み
福岡(薬師堂地区)	福岡蔵本字新菅生田地内(汚水管・処理場舗装他)、福岡蔵本字新菅生田地内(機械設備工事)	復旧済み
越河	越河五賀字下田地内	復旧済み
	越河字小坂入地内ほか	平成24年7月末復旧

●公共下水道の主な被災地区
(平成25年1月末まで全地区の復旧を予定)

地区名	施工箇所
白石	南町地区
	田町地区
	鷹巣東地区
	字銚子ヶ森地区
	東町地区
	旭町地区
	八幡町地区
	郡山雨ヶ作地区(復旧済み)
松ヶ丘地区	
大平	大平森合地区
福岡	福岡蔵本字西町地区(復旧済み)
大鷹沢	大鷹沢大町地区



▲平成24年2月に工事を完了した東中学校北側(鷹巣側)



▲平成24年6月に工事を完了した中央通り線(旧国道4号)

公共下水道は平成25年1月末
道路は平成26年3月末までの復旧を目指す
主な公共施設の被害と復旧状況

復興に欠かせないのが、道路や上下水道、公共施設などの復旧だ。
市が管理する道路や河川の復旧予算は、約20億8千万円。震災により市内全域で道路の陥没や亀裂、地滑りなどの被害があったが、昨年夏以降の本格的な復旧工事により、現在の通行止め路線は、コスモスライン線(福岡・小久保平原線(小原)の2路線のみとなっている。
具体的には、「補助災害(国災)」と呼ばれる、補助金など国の財政支援制度のある比較的大規模の大きな災害に認定された被害箇所が138カ所、被災延長は37.3kmとなっている。平成24年5月末までに69カ所の工事を発注し、うち36カ所の復旧を終えた。今後は、残り33カ所と新たに発注する69カ所の工事を行い、平成25年3月末までの復旧を目指している。
このほか「単独災害」と呼ばれる、比較的規模の小さな被害箇所が103カ所あり、補助災害復旧工事が終わり次第、順次工事を行い、平成26年3月末までに復旧を終える予定である。
林業施設(林道)は小原新町林道が被災。その復旧予算は約600万円、平成24年3月末までに復旧を終えた。
また、農業用施設(道路・水路・

ため池・農地など)の被害箇所は、補助災害が12カ所、単独災害が28カ所あり、復旧予算は約9,300万円。補助災害は12カ所中、平成24年6月末までに8カ所の復旧を終えた。残り4カ所は平成24年12月末までに終了の予定である。単独災害の28カ所は、補助災害復旧工事が終わり次第、順次工事を行い、平成26年3月末までの復旧を予定している。
公共下水道は、管路延長の7.65%に当たる約12.5kmが被害を受け、復旧予算は約9億6,700万円に上る。そのうち、福岡蔵本字西町地区と郡山雨ヶ作地区の2地区は工事が完了。残りの地区は、平成25年1月末までの復旧を目指している。農業用集落排水は3地区が被災。復旧延長は585m、復旧予算は約7,400万円。斎川地区と福岡地区、越河地区の一部は復旧を終え、越河地区の残りは平成25年1月末までの復旧を目指している。
上水道施設の復旧予算は約7,700万円。本管漏水処理が70カ所、本管損傷布設替の総延長は約2kmに及んだが、平成24年6月末までにほとんどの工事が完了。現在、老朽化した配水管を地震に強い管に入れ替える工事を行っている。



▶1メートル以上隆起したマンホールも徐々に復旧(東町三丁目地内)

